

ろう者の映画と演技

～ろう者の視点から生まれる新しい芸術～

近年、吉沢亮主演の『ぼくが生きてる、ふたつの世界』や草彅剛主演の『デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士』など、ろう当事者が出演する映画やドラマが増えてきました。その背景にはどのような道のりがあったのでしょうか。ろう当事者の俳優、砂田アトム氏が出演した、深田晃司監督作品『LOVE LIFE』（ヴェネチア国際映画祭正式出品）に協力した牧原依里がその背景を語るとともに、ろう者たちが歩んできたろう芸術の軌道を紹介します。
またイギリスのろう者監督、テッド・エヴァンズの短編『THE END』の上映を行います。



講師 牧原 依里 氏

＜講師プロフィール＞

映画作家 / アーティスト / 一般社団法人日本ろう芸術協会 代表理事

作品形態は映像、パフォーマンスなど異なるが、その作品から生まれる現象を可視化する装置を提供することで、私たちの共通性と相違性を探り続けるとともにこの世界の社会構造を浮かび上がらせる試みを行なっている。

映画作品にろう者の「音楽」をテーマにしたアート・ドキュメンタリー映画『LISTEN リッスン』（2016）を零境（DAKEI）と共同監督、第20回文化庁メディア芸術祭アート部門 審査員推薦作品、第71回毎日映画コンクール ドキュメンタリー映画賞ノミネート。他『田中家』（2022）、演劇作品に『聴者を演じるということ 序論』（2023）等。恵比寿映像祭 2025 コミッション・プロジェクト ファイナリストに選抜。

武蔵野市教育委員会では、生涯学習の一環として聴覚障害者が多くの市民とともに学ぶ機会を設けています。この講座は、どなたでもお気軽に参加いただける一般教養講座です。※講座には手話通訳と要約筆記がつきます。

2024 年 11 月 16 日(土)

【時間】 18:30～20:30（受付 18:00～）

【会場】 武蔵野プレイス 4 階フォーラム

【参加費】 無料 【定員】 100 名（先着順。当日直接会場へ）

【共催】 武蔵野市聴覚障害者協会 武蔵野市教育委員会

【問合せ】 武蔵野プレイス生涯学習支援係

TEL：0422-30-1901 FAX：0422-30-1960

E-mail：gr-syougaku@musashino.or.jp



公益財団法人 楽しむ、出会う、わかちあう
武蔵野文化生涯学習事業団



ひと・まち・情報 創造館
武蔵野プレイス